



さくらこども園だより

令和6年11月26日
御前崎市立さくらこども園

気温の低下とともに、木々の葉っぱが色づき、一段と秋の深まりを感じます。食欲の秋、読書の秋、芸術の秋など、秋はいろいろな表現をされますね。

乳児部の子ども達は先日の親子活動でグリーンシトラスミュージックによる親子のリトミックを、幼児部の子ども達は、同じくグリーンシトラスミュージックによるコンサートを楽しみました。

クラシックからポピュラーなど様々な分野の音楽を組み合わせ、いろいろな楽器で演奏してくれました。軽快な音楽では自然に笑顔になって手足が動きだし、ゆったりと流れる音楽では自然に子ども達の顔もおだやかになり…と、素敵な音楽を聴いていると体が自然にリズムに合わせて動いてしまうよう、また幼児部ではお話のイメージを膨らませながら音楽を楽しむことができ、短い時間ではありましたが豊かな気持ちになる経験ができました。

実りの秋を迎え、しぐさや振る舞い、話す言葉や友達とのかかわりなどの様子からどの子もひとまわり大きくなったなあと感じられます。たっぷり遊んでいろいろな経験をたくさんして心豊かにますます大きくなってほしいと思います。どの子もぐんと大きくなる充実期。それぞれの成長を次へとつなげていきたいと思います。

16日(土)の親子活動へのご参加ありがとうございました

「2人きりになることがほとんどないので楽しい時間でした」「家では見ることがない姿を垣間見ることができ嬉しかったです」「心に余裕がなくて後悔の繰り返し。講演会では救われた気持ちになりました」「子育ては大変だけど今しかない時間を大切にしていきたいです」などたくさんの感想をいただきました。

忙しい毎日、子どもも大人もみんな頑張っています。「たった10秒ぎゅーっと抱きしめる」「短い絵本でいからお子さんを膝に入れて一緒に見る」など、できることで十分。お子さんもきっと喜びます。

『子どもの満足感、自己肯定感を満たすことができる』

子どもは本能的に「親に見守られたい」「親に認めてほしい」という欲求を持っています。親子で遊ぶ中で「見て！見て！」という欲求が受け入れられると、大きな満足感を得ることができます。それが自己肯定感（自分自身を認めて肯定すること）を育むことに繋がります。



『他者への信頼感が育つ』

親子の遊びの中では、抱っこなどの触れ合いも多くなります。子どもが抱っこを求めた時に、親が応えてあげることで、子どもは安心し、幸福感を得ることができます。こうした体験は、他者へ心を開いて、他者を信頼するためにもとても大切なことです。

なぜ大切？ 親子の遊び

『他者とのコミュニケーションを学べる』

子どもは、親子の遊びの中でやっていいこと、いけないこと、思いを伝える方法などの様々なコミュニケーションを学びます。その経験を活かして、友達同士での遊びでさらにコミュニケーションを学ぶというふうに学びが広がっていきます。親子の遊びは、子どものコミュニケーション能力を伸ばすための出発点です。

『五感を刺激し

心身の発達につながる』

子どもは、親子の遊びを通じて言葉、体の動かし方、表情、リズム感などの様々な力を身に付けます。目や耳だけでなく、におい、触覚なども含めて、よい刺激となって、自然と心と体の発達が促されます。大人と一緒に遊ぶことで遊びの世界も広がり、より多くの刺激を得ることができます。

子ども同士の遊びは、社会性を育み、コミュニケーション能力などを伸ばす上で必要なことです。が、乳幼児期は親子で一緒に遊ぶこともとても大切です。



【おねがい】

先日、総合防災訓練を行いました。登園時間中は登園している子と、いない子が混在していて人員把握が非常に難しく、時間がかかりました。

万が一、災害が起きた場合に迅速に園児の人数を把握し安全を確保できるよう次の点にご協力ください。

- ◎ 幼児部は8時50分、乳児部は9時までに登園してください。
- ◎ 時間内に登園できない場合は、園に連絡をください。